



# 七中だより

第10号

令和4年2月15日(火)

校長 勝野 能光

## After TOKYO 2020……次世代につなぐ

副校長 廣瀬 尊貴



「人類史上最高難度のルーティーンをまたしても通しました！」

アナウンサーの絶叫が響きました。2022年北京冬季オリンピック・スノーボードハーフパイプで史上初のトリプルコーク1440を決め、平野歩夢選手は金メダルを獲得しました。多くの子供たちが、五輪の舞台上で繰り広げられる熱い戦いに魅了されたことでしょう。これを機にスノーボードを始める子供たちもいるかもしれません。次世代に夢と希望を与えてくれました。

私もオリンピックに魅了された1人でした。「僕の夢はオリンピックで金メダルを取ることです」。保育園の卒園式で誓いました。祖父と父のDNAを受け継ぎ跳躍力には自信がありました。1968年メキシコ五輪、米国のビーモン選手が走幅跳で8m90cmの世界記録を樹立しました。ブラウン管に映し出されたビーモン選手の空中をしなやかに舞う姿に、未来の自分を重ね合わせました。50年を経た今でも当時の感動は「レガシー」として私の中に生きています。



新型コロナウイルスの影響を受けながらも、無事に幕を閉じた東京2020オリンピック・パラリンピック。閉幕した今、五輪の成果をどのように未来へ引き継いでいくかが求められています。「東京オリンピック・パラリンピックレガシー」です。レガシーが「世代から世代へ受け継ぐものごと」とするならば、私たちは次世代の子供たちに何を引き継いでいけばいいのでしょうか。

まずは「折れない心」です。水泳女子日本代表の池江璃花子選手は、東京五輪の金メダル最有力候補でした。開幕を目前に控えた2019年白血病と診断され、療養生活を余儀なくされました。絶望のどん底に突き落とされた池江選手。彼女を病魔から救い五輪出場に導いたのは、絶対に五輪のプールで泳ぐという強い信念であったと思います。

私たち日本人は忍耐強さを美德としていました。合理性と利便性を重視する最近の風潮により、安きに流れる状況が見られます。その結果若者を中心に心が脆弱になり、難局を打開する意欲が落ちている印象があります。看過しておく、我が国の文化、経済、スポーツにおける国力の低下につながる危惧があります。したがって、苦しい局面に自ら対峙する力を育み、折れない心を引き継ぐ必要があると考えます。

次に「豊かな国際感覚」です。東京五輪の新競技スケートボードの男子ストリートで金メダルに輝いた堀米雄斗選手。高校卒業後、拠点をアメリカに移し腕を磨きました。多様な文化、伝統との触れあいを通して国際感覚を磨き、国際的なスケートボーダーとして戻ってきました。五輪の大舞台でも物怖じせず伸び伸びと演技をしました。従来の日本人選手は国際舞台で実力を発揮できない傾向にありました。堀米選手の勝負強さは豊かな国際感覚によって培われたものでしょう。今後一層グローバル化が進み、国際的に活躍する人材の育成が求められます。豊かな国際感覚は次世代に引き継ぐべき資質能力であると考えます。



表彰式、メダルを授与され、国歌が流れます。その時選手の胸には、どんなことが去来するのでしょうか、聞いてみたいのです。望むのは、東京オリンピックソフトボール女子日本代表の渥美万奈選手。なぜなら、かつてソフトボール少年だった私の憧れの選手として。そして、また TOKYO 2020の感動のレガシーを次世代へ語り継ぐ者として……。

# 校内書初め大会

日本の伝統文化の1つ「書初め」。1月11日(火)～24日(月)まで、校内書初め大会を開きました。冬休みに全校生徒が取り組んだ書初めをクラスの廊下や教室に展示しました。どれも心のこもった筆遣いで、甲乙つけ難い力作揃いとなりました。入賞者は以下のとおりです。金賞を受賞した作品は、本校を代表して三鷹市書初め展にも出品されました。



## 【校内書初め展 入賞者】

### \* 金賞 \*

金古 愛未 (3A)    ウッドワード万里 (3B)    海老澤美央 (3B)

小松千瑛実 (3B)    峯岸 和 (3B)    五十嵐愛美 (2B)

市原 奈々 (2B)    稲生 優和 (2B)    荒井 美咲 (2C)

小野 立 (1B)    團 英翔 (1C)

### \* 銀賞 \*

土橋瑚楽琉 (3A)    岸高 望音 (2A)    齋藤 蒼葉 (2A)    杉浦 大暉 (2A)

小宮 正平 (2B)    佐々木せな (2B)    角田 登偉 (2C)    篠崎 駿 (2C)

前沢ちひろ (2C)    坂 朝羽 (1A)    山本 孝裕 (1B)    茨木 真 (1C)

### \* 銅賞 \*

右崎 優菜 (3A)    滝沢 幸穂 (3A)    藤沼 樹 (3A)    松尾 有姫 (3A)

石黒 侑斗 (3B)    島村茉夕妃 (3B)    進藤 樹里 (3B)    井口 真琳 (2A)

土持 夏瑚 (2A)    伊藤 由奈 (2B)    榛澤 紗弥 (2C)    半澤 結芽 (1A)

渡邊 瑛真 (1A)    松原 慶陽 (1B)    山崎 彩世 (1B)

☆ウッドワード万里さんの作品は三鷹市書初め展でも金賞を受賞しました。



## 3年生受験頑張って

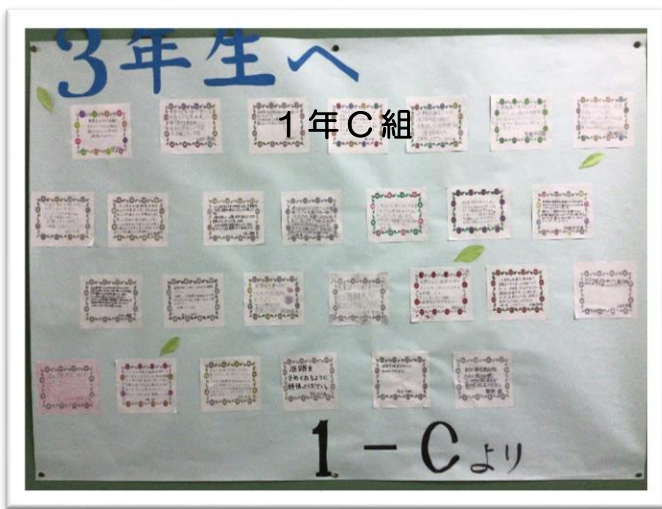


1月22日(土)の私立高校推薦入試を皮切りに受験シーズンがいよいよ本番を迎えました。受験に臨む3年生に、1、2年生から応援メッセージが送られました。

中学校3年間で身に付けた力を思う存分発揮して、受験を乗り越えてください。







## 災害は突然起きるのです

1月24日(月)避難訓練を実施しました。今回は避難訓練の実施を事前には知らせず、昼休みに地震が発生したことを想定した訓練でした。生徒は全くあわてることなく、冷静に速やかに校庭に避難することができました。災害はいつ発生するか分かりません。安全に身を守るためには、日頃から訓練に真剣に取り組むことが大切です。



## ユニセフ募金活動

2月1日(火)～3日(木)生徒会本部役員を中心に、ユニセフ募金活動を行いました。5歳を迎える前に亡くなってしまう世界の子供の数は、530万人に上るとい統計が出ています。多くの子供たちが十分な教育を受けられず、飢えや病気で苦しんでいます。この活動で集められた収益金により世界の子供たちが幸福に暮らせることを願っています。





## 私たちがより良い七中を

りの心を失うことなく、皆で協力して、実り豊かな中学生活をつくりあげましょう。」時代の変化により価値観や生活様式も変わっていきます。学校が社会人として健全な生活を送る基本的なマナーやルールを学ぶ場であるならば、社会の状況に応じて、校則も見直していく必要があります。

2月3日(木)全校生徒に行った校則アンケートの結果を校長先生に説明しました。今後、生徒会が中心となって校則を見直し先生方と相談しながら、より良い七中を創り上げていきます。



### 《3月の主な行事予定》

※新型コロナウイルスの感染状況により、予定が変更になることもあります。



- 1日(火) 都立高校一次発表  
領域診断テスト(1年)
- 3日(木) 学校保健委員会  
領域診断テスト(2年)
- 4日(金) 薬物乱用防止教室(3年)  
安全指導
- 7日(月) 全校朝礼 避難訓練
- 8日(火) がん教育講習会(3年)
- 9日(水) 国際交流(3年)
- 10日(木) 保護者会  
②⑥カット(①③④⑤)  
都立高校二次入試
- 11日(金) 修学旅行事前指導①⇔⑥
- 13日(日) 修学旅行(3年 15日まで)
- 14日(月) ①カット 専門委員会 中央委員会
- 16日(水) 都立高校二次発表
- 17日(木) 卒業式予行
- 18日(金) 第38回卒業式
- 24日(木) 大掃除 ②③④⑤⑥カット  
(①大掃除)
- 25日(金) 修了式
- 26日(土) 春季休業始

### 三味線の授業を体験

2年生は音楽の授業で、杵屋徳衛先生を講師にお招きし、三味線にチャレンジしました。室町時代に中国から琉球に渡来し、日本の楽器として発展した三味線。杵屋先生のご指導のもと情趣ある音色を奏でていました。



#### 【出欠席に関する電話連絡時のお願い】

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って出欠席に関する電話連絡が増えています。連絡の遺漏の防止のため、朝の職員打ち合わせの時間帯は避けていただき、下記の時間帯にご連絡いただきますようお願いいたします。

☆7:45~8:10の時間帯

(※8:15~8:25 職員打ち合わせ)